



《おてんとうさまがほしい》撮影風景

2023年 3 月 18 日 (土)・3 月 19 日 (日)

3月**18**日(土) **3**月**19**日(日)

13:00- Aプログラム※ 10:30- Dプログラム※ 15:30- Bプログラム 13:30- Eプログラム 17:30- Cプログラム 15:50- Fプログラム

※冒頭に担当者による解説を行います。 上映作品は裏面に掲載

国立国際美術館 地下1階 講堂

参加無料 (全席自由、先着100名)

各プログラム入れ替え制

各日10:00から当日の各プログラムの整理券配布(1名様につき1枚)

- 新型コロナウイルス感染予防対策を実施したうえで開催します。 館内でのマスク着用など、来館者の皆様にもご協力をお願いします。
- 入館時に体温測定を実施します。37.5度以上の発熱が確認された場合は、入館をお断りします。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、中止になる場合があります。



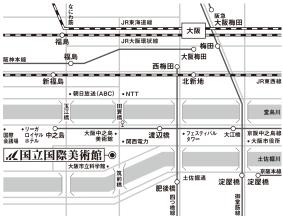


第24回 中之島映像劇場 ケアする映画をたどる

第24回中之島映像劇場では、「ケア」という主題から戦 後日本のドキュメンタリー映画に流れる水脈に光をあて ます。"care"(ケア)は、健康に対する配慮やそのため の手助けといった行動を指しますが、看護や介護、福祉、 保育の現場のみならず、生存に関与するあらゆる空間で 実践されているものです。地域や社会のなかで孤立し、 苦しみを抱えるケアの受け手と与える者との繋がりが、 既存の人間関係に縛られない、新たな共同性を創発する ことさえあります。個人の判断と責任が強く求められる 現代の社会状況で、生の営みがいかに多様なアクターと の連関のなかで支えられているかを、ケアの思考は喚起 します。

ケアの概念は、近年のアートおよび映像表現の世界でも 関心を集めていますが、過去の記録映画の取り組みをた どる導きの糸にもなるはずです。福祉映画の巨匠・柳澤 壽男が「撮りながら考え、考えながら撮る」と述べたよ うに、優れたドキュメンタリーには、制作過程で試行錯 誤しながら、「ケアとは何か」を問い直してきた痕跡が認 められます。それは医師が患者に行う治療行為が時に直 線的であるのに対し、ケアが他者との応答を繰り返し、 失敗も挟みながら調整を進める過程とも重なるものです。 単なる介護や福祉の場の記録ではなく、映画がケアの空 間に寄り添い、容易に答えの出ない問いとどのように向 かい合ってきたか、上映を通して考える機会になることを 願っています。

[アクセス] 京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口) から南西へ徒歩約 5分/ Osaka Metro四つ橋線 「肥後橋駅」 (3番出口) から西へ徒歩約10分/ JR「大阪駅」、阪急電車「大阪梅田駅」から南西へ徒歩約20分/JR大阪環 状線 「福島駅」、東西線 「新福島駅」 (2番出口) から南へ徒歩約10分/阪神 電車「福島駅」(3番出口) から南へ徒歩約10分/ Osaka Metro御堂筋線 「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」(7番出口) から西へ徒歩約15分/大阪 シティバス「大阪駅前」から、53号・75号系統で、「田蓑橋」下車、南西へ 徒歩約3分(お帰りのJR大阪駅方面最寄バス停は「渡辺橋」になります) •当館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用ください。 • 心身に障がいのある方で、車で来館される場合は、当館近隣の有料駐車場 をご利用くださいますようお願いします。







4-2-55 Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005

国立国際美術館では、本上映会時に、次の展覧会を開催中です。 「ピカソとその時代 ベルリン国立ベルクグリューン美術館展」 「コレクション2 特集展示:メル・ボックナー」

3月18日(土)

13:00- ▲ プログラム ※冒頭に担当者による解説を行います。

《痴呆性老人の世界》

(16mm / 1986年/84分/国立映画アーカイブ蔵)

製作会社:岩波映画製作所|製作:河上裕久・宅間由美子|演出:羽田澄子 撮影:西尾清 | 照明:藤来義門・久保賀作 | 録音:久保田幸雄・滝沢修 演出助手: 堀山博子・井手洋子 | 撮影所手: 高貴準三 | ナレーター: 斎藤季夫 選曲: 戸高良行

○作品タイトルは、オリジナルを尊重して、そのまま記載しています

15:30- B プログラム

《おてんとうさまがほしい》

(16mm / 1994年/47分)

プロデューサー: 貞末麻哉子 | 撮影・照明: 渡辺生 | 構成・編集: 佐藤真 資料撮影:柳田義和|整音:滝澤修|音楽:秋元薫|ネガ編集:和田至亮 構成補:鈴木佳尚 | 特別協力:医療法人圭愛会日立梅ヶ丘病院

《保育園の日曜日》

(デジタル上映 [原版: 16mm] / 1997年/20分)

製作: 豊川保育園おやじの会 | 監督: 佐藤真

撮影:相内津・井上史浩・城野剛史・船橋淳・邱淑婷・劉文兵・吉田賢一 ピアノ伴奏: 佐々木洋子

17:30- C プログラム

《子どもをみる目 ―ある保育者の実践記録から―》

(16mm / 1978年/45分/国立映画アーカイブ蔵)

製作会社:岩波映画製作所|製作:田村勝志|企画演出:時枝俊江

撮影:八木義順 | ナレーション:伊藤惣一 ○褪色したプリントでの上映です

《ともだち》

(デジタル上映 [原版: 35mm] / 1961年/59分)

企画:日本私立幼稚園連合会|製作会社:岩波映画製作所|製作:小口禎三

構成・編集:時枝俊江・久保田義久|撮影:藤瀨季彦・栗田尚彦 照明:松橋仁之|録音:安田哲男|台詞:秋浜悟史|音楽:三木稔

語り手: 臼井正明

3月19日(日)

10:30- D プログラム ※冒頭に担当者による解説を行います。

《夜明け前の子どもたち》

(16mm [原版: 35mm] / 1968年/116分/国立映画アーカイブ蔵)

企画: 財団法人大木会 心身障害者福祉問題綜合研究所

製作:国際短篇映画社|脚本:秋浜悟史|監督:柳澤壽男|助監督:梅田克己

撮影:瀬川順一|音響構成:大野松雄・小杉武久|音楽:三木稔

録音: 片山幹男 | 照明: 久米成男 | 編集: 高橋春子・加納宗子 | 解説: 植田譲

13:30- E プログラム

《そっちやない、こっちや ―コミュニティ・ケアへの道―》

(16mm / 1982年/110分/国立映画アーカイブ蔵)

企画: 伊藤方丈 | 製作: 記録映画 「コミュニティー・ケアへの道 | 製作委員会 構成・監督: 柳澤壽男 | 撮影: 塩瀬申幸 | 録音: 小林賢 | スチール: 小林茂 題字:沙羅千春|解説:伊藤惣一|作詞:森永都子|作曲:冬木透

15:50- F プログラム

N F A J

国立映画アーカイ

《養護学校はあかんねん!

'79.1.26-31文部省糾弾連続闘争より》

(16mm / 50分/1979年/神戸映画資料館蔵) 企画制作:市山隆次 | 構成:大石十三夫・山邨伸貴

編集・インタビュー:山邨伸貴 | 撮影:小田博・小林義正 | 録音:若月治

整音: 久保田幸雄 | タイトル題字: 須田雅之



《痴呆性老人の世界》



《おてんとうさまがほしい》



《保育園の日曜日》



《ともだち》



《夜明け前の子どもたち》





《養護学校はあかんわん! '79.1.26-31文部省糾弾連続闘争より'